



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各 位

2022年6月29日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2022年5月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数、中古車販売台数共に前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債額はともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2022年5月分)

◎2022年5月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

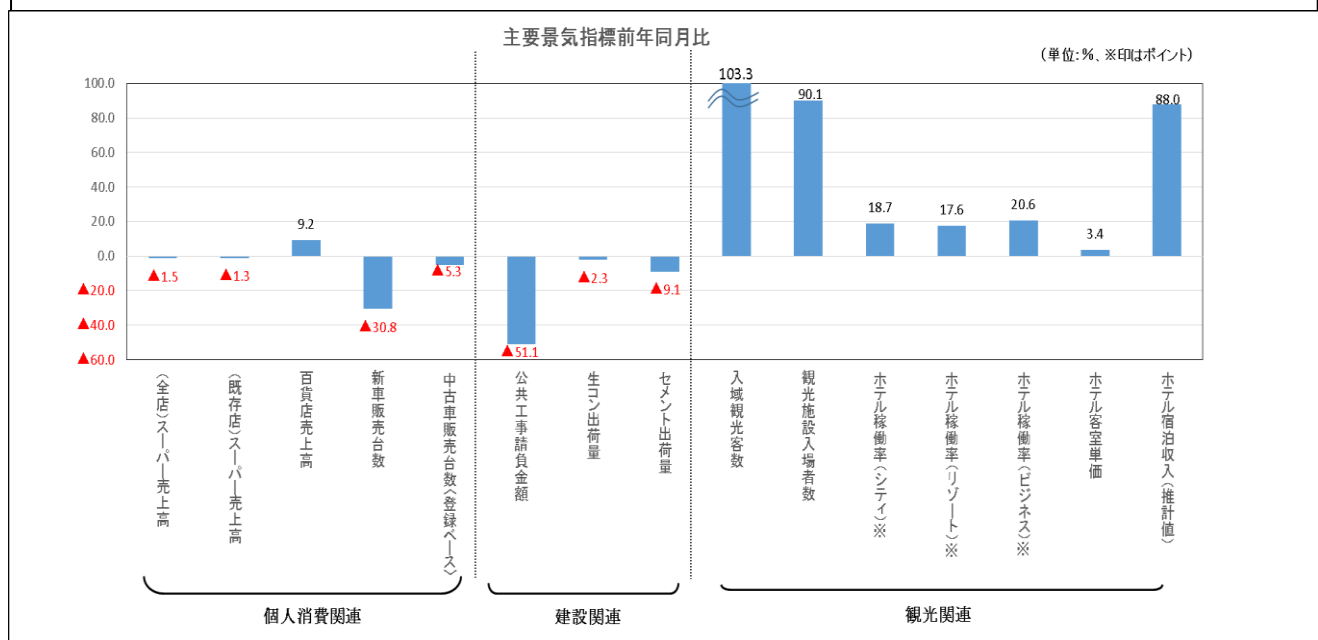
5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数は共に前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回りました。コロナウイルスの影響により2019年同月比では厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられます。

このような状況に鑑みて、個人消費は、耐久消費財の供給制限などにより弱さがみられるものの持ち直しの動きがみられ、建設関連は弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況が続く中、持ち直しの動きがみられます。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる」と景気判断を据え置きました。

(2022年3月の上方修正から3か月連続で判断維持)



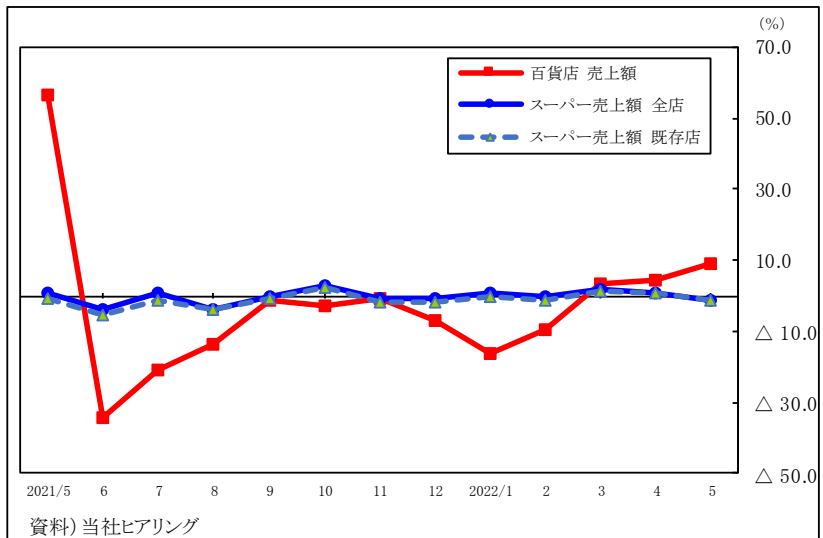


■個人消費： (やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2021/5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2
10	2.9	2.3	△ 3.0
11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5
12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3
3	1.9	1.5	3.3
4	0.6	0.6	4.6
5	△ 1.5	△ 1.3	9.2



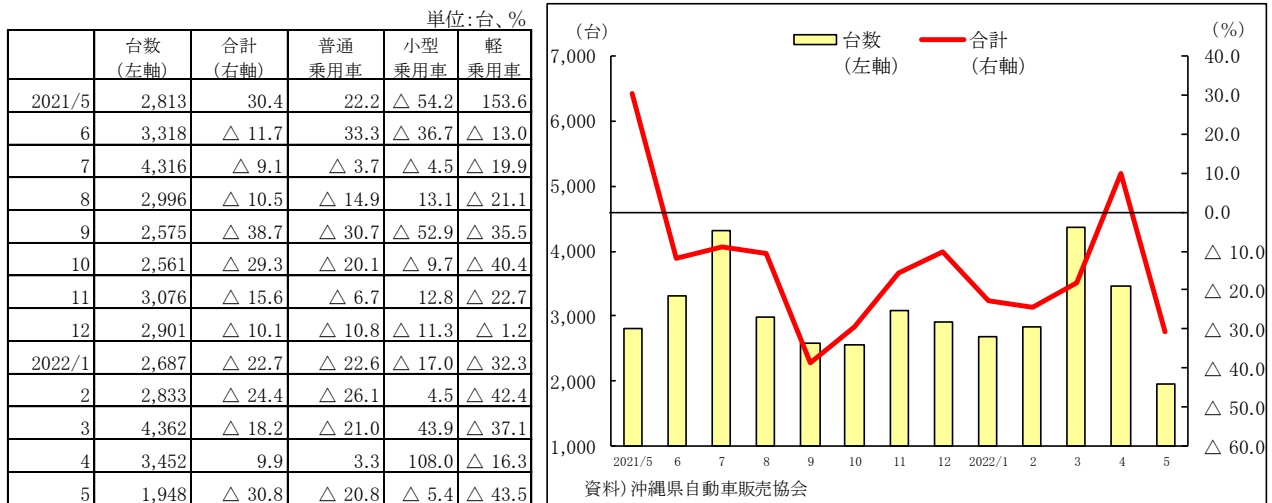
注) 前年同月比

5月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 1.5%減)」は、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、「食料品(同 1.0%減)」は前年のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言による内食需要の反動などから前年同月を下回りました。「衣料品(同 6.4%減)」は悪天候が続いたことなどにより客足の鈍さが見られ、前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同 1.3%減)」は、3ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 1.0%減)」は、前年のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言発出による外出自粛に伴う内食需要の反動などにより前年同月を下回りました。「衣料品(同 3.9%減)」、「家庭用品(同 1.9%減)」は悪天候に伴い客足が伸び悩んだことなどにより、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました(同 9.2%増)。内訳をみるとウェイトの高い「衣料品(同 9.3%増)」や、「身廻品(同 21.0%増)」は、前年のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の反動による来店客数の増加などにより前年同月を上回りました。「家庭用品(同 31.9%減)」は、中旬以降の降雨量増加に伴う客足減少の影響などにより前年同月を下回りました。「食料品(同 17.7%増)」は開催した催事が好調であり、客数が増加したことなどにより前年同月を上回り、全体としては3ヶ月連続で前年同月を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。



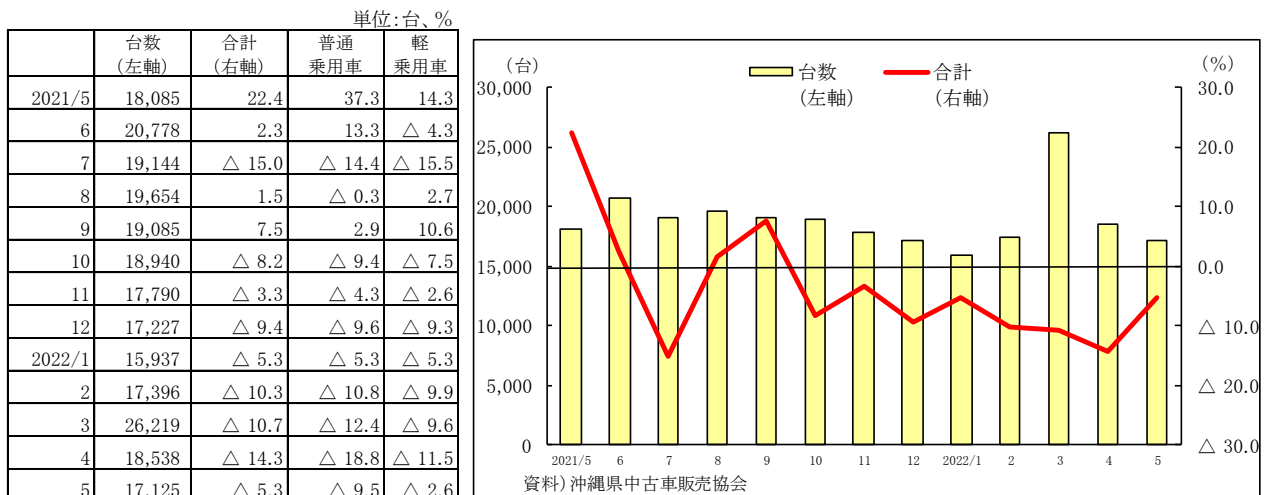
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で1,948台(同30.8%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同20.8%減)」、「小型乗用車(同5.4%減)」、「軽乗用車(同43.5%減)」は、半導体の不足や上海のロックダウンに伴う部品不足の影響などにより、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。

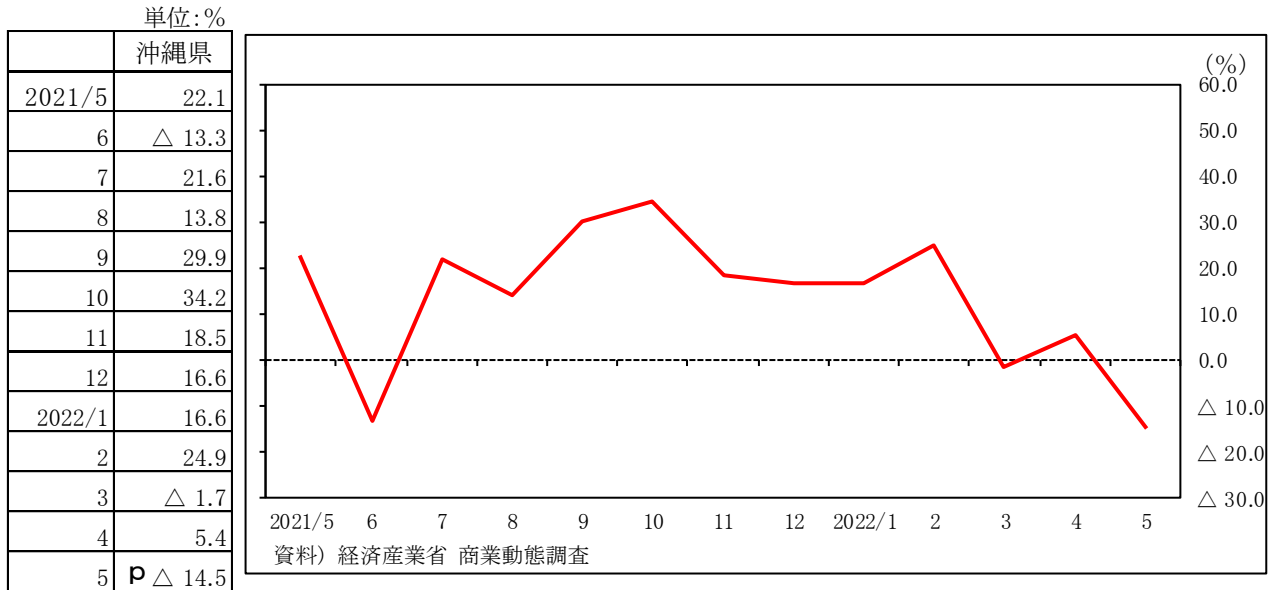


注) 前年同月比

注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で17,125台(同5.3%減)となり、8ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同9.5%減)」、「軽自動車(同2.6%減)」共に新車の供給台数が減少していることが要因となり、中古車市場においても、台数が減少していることなどにより、前年同月を下回りました。

④ 【速報値：5月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を下回る。



注)前年同月比 p:速報値

5月の**大型家電専門店販売額**は2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

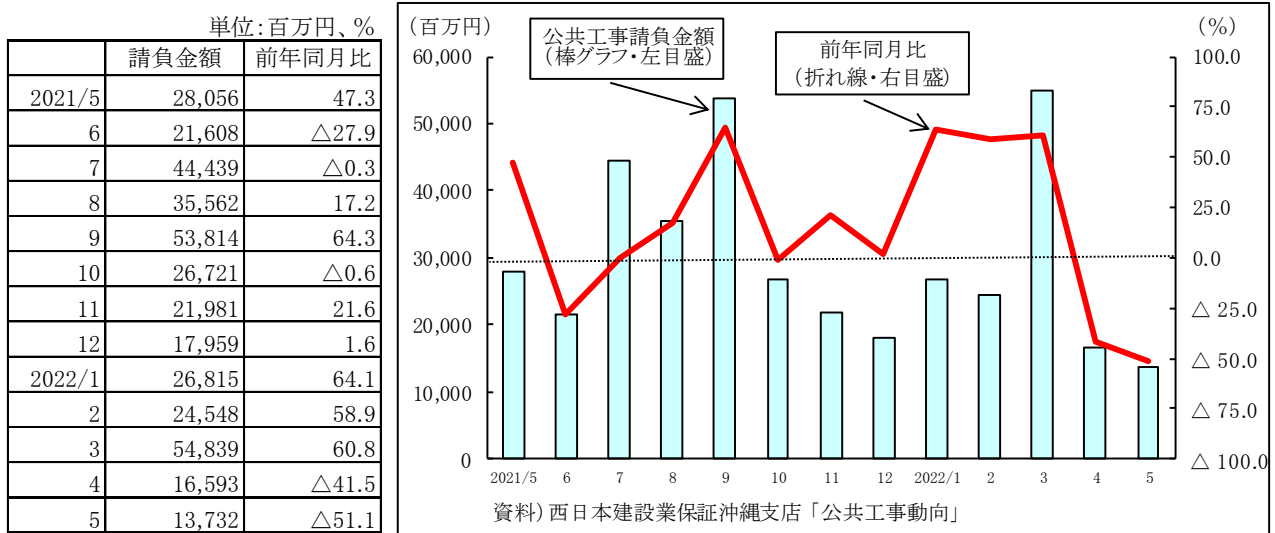
下回った要因として、前年の反動や、降雨量が平年値を大きく上回り、客足が伸び悩んだことなどが挙げられています。

※コメントについては商業動態調査を基に小売店へ弊社が独自にヒアリングを行ったものになります。

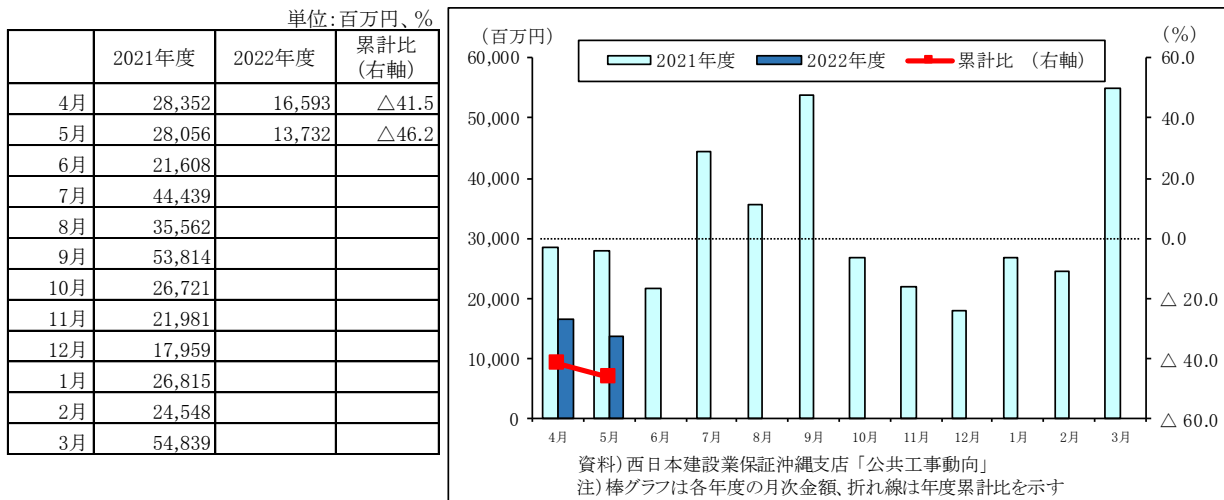


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



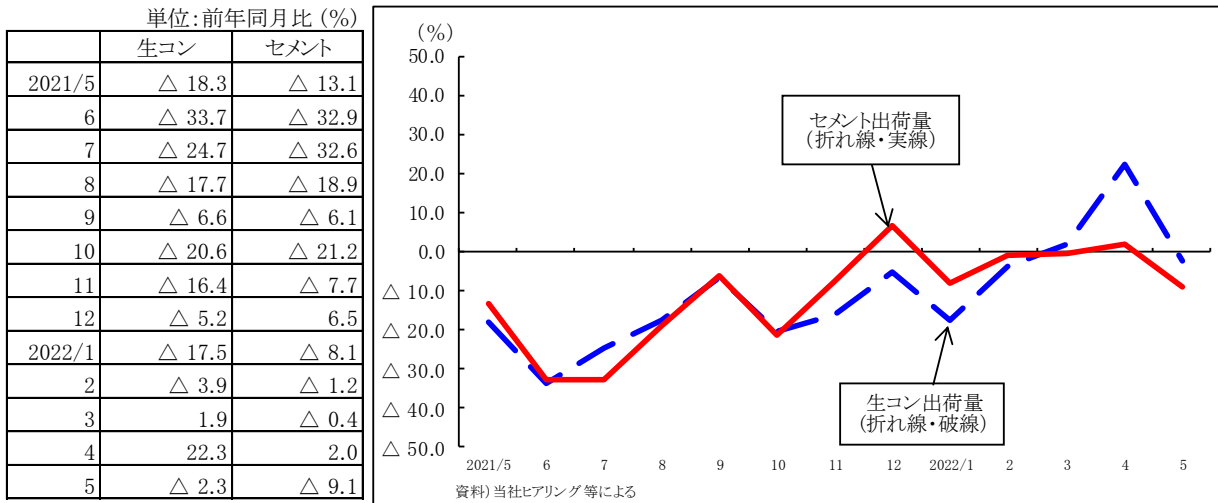
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



5月の公共工事請負金額は、前年同月比 51.1%減の 137 億 3,200 万円となりました(2ヵ月連続減)。

発注者別でみると、「国(同 76.8%減)」、「市町村(同 76.6%減)」、「独立行政法人等(同 100.0%減)」は前年同月を下回りました。一方、「その他の公共的団体(同 445.5%増)」、「沖縄県(同 18.2%増)」は前年同月を上回りました。

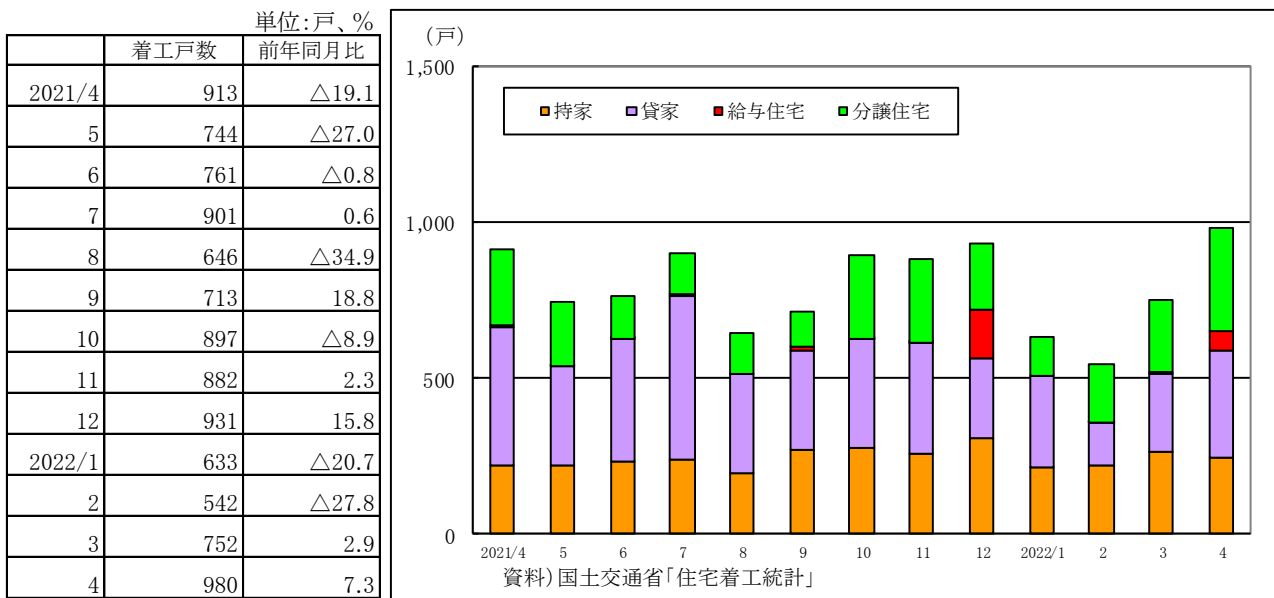
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

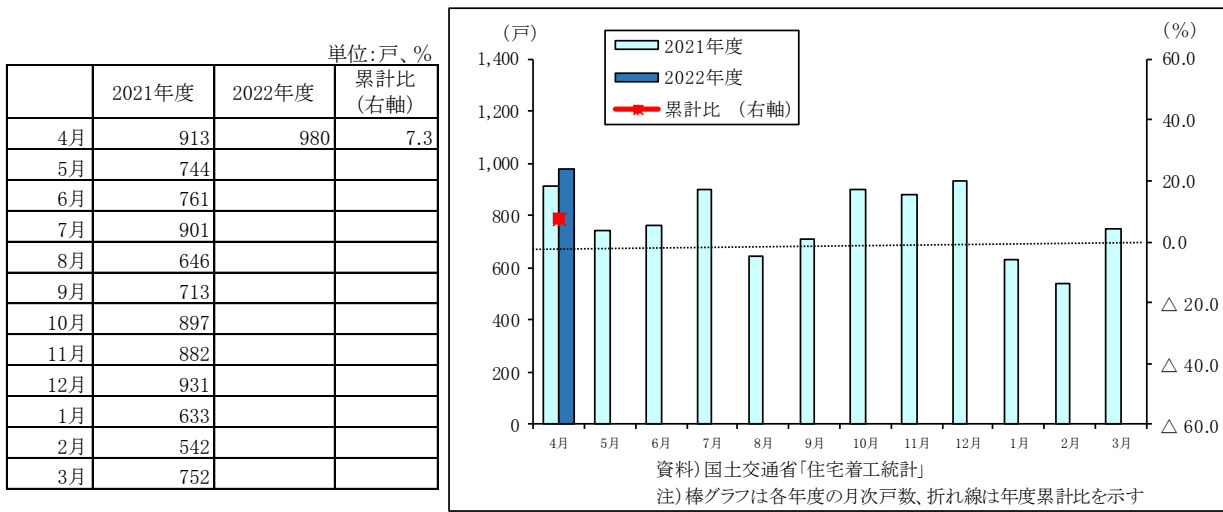
建設資材関連では、**生コン**の出荷量は 2.3%減と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、石垣での出荷が増加したことなどから前年同月より10.9%上回り、民間工事向けは中南部での出荷が減少したことなどから前年同月より8.1%下回りました。**セメント**出荷量は 9.1%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資（4月）・・・着工戸数は前年同月を上回る。



4月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比7.3%増の980戸となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同34.7%増)」、「給与住宅(同785.7%増)」、「持家(同11.5%増)」は前年同月を上回りました。一方、「貸家(同22.1%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。



今年度累計値では、7.3%増となっています。

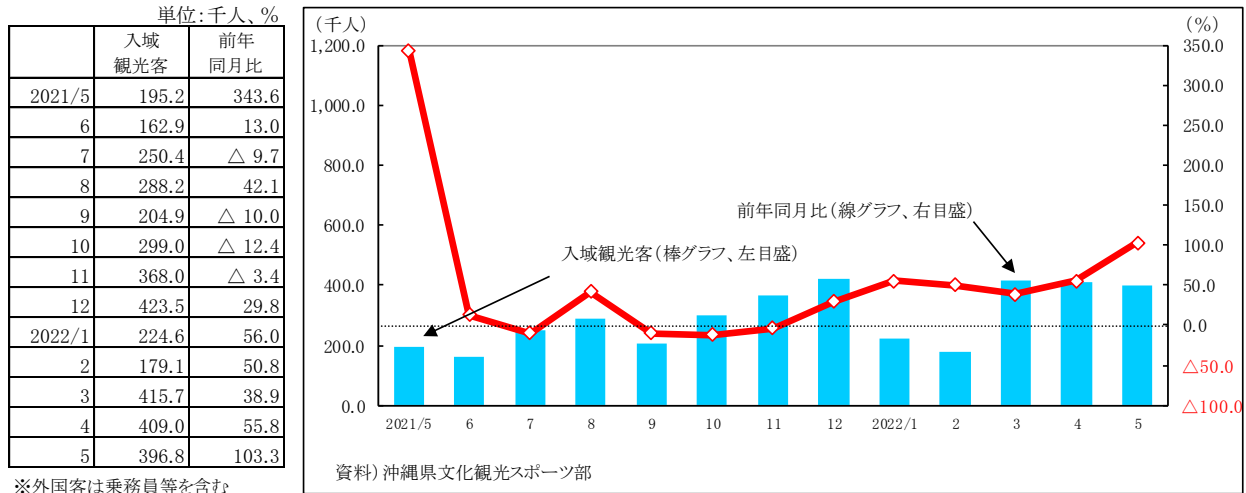
【参考】

2021年度の新設住宅着工戸数は、全体で9,315戸となり9.9%減と前年度を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同27.1%減)」のほか、「給与住宅(同54.5%減)」は前年度を下回りました。一方、「持家(同24.4%増)」や「分譲住宅(同5.7%増)」は前年度を上回りました。



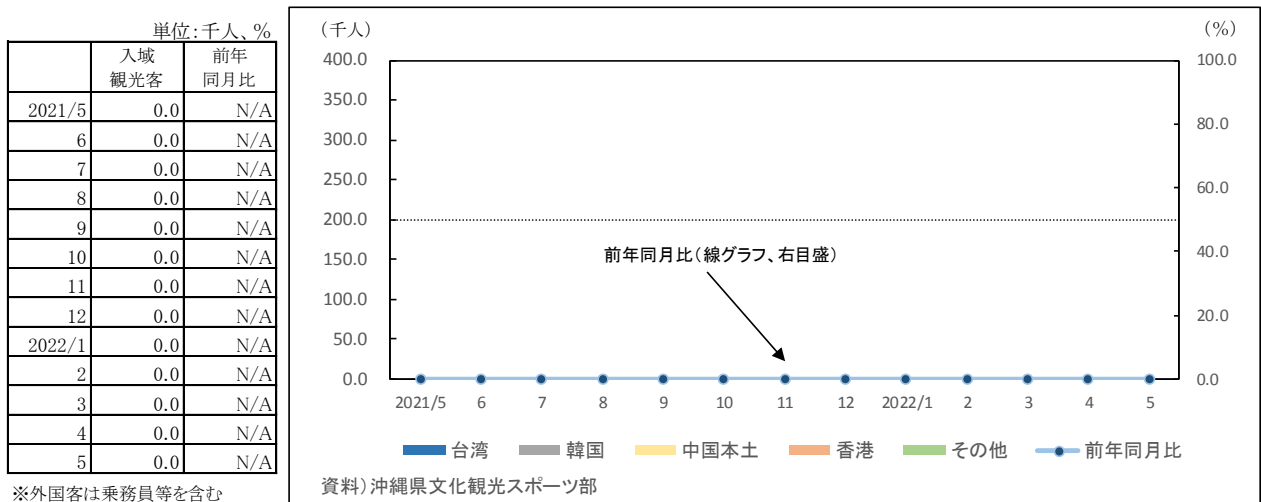
■観光関連： (やや悪い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。



5月の入域観光客数は、減便規模の縮小などから201,600人多い396,800人(前年同月比103.3%増)となり、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。しかし、2019年同月比では438,100人減少(52.5%減)と大きく下回っており、厳しい状況となっています。

外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。日本への入国制限措置については段階的な緩和が検討されているため、今後の動向を注視する必要があります。

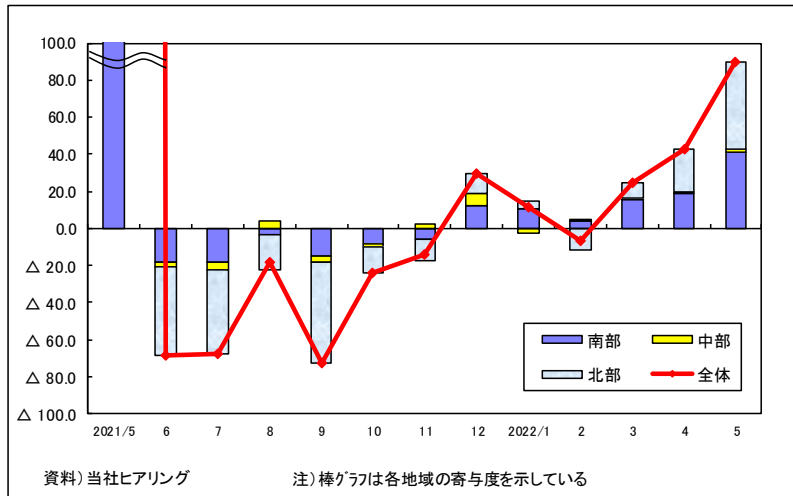
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2021/5	16,798.8	21,121.3	5,410.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.6	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8
10	△ 23.5	△ 28.1	△ 18.4	△ 22.1
11	△ 14.3	△ 16.0	40.0	△ 19.9
12	30.0	37.9	46.7	20.9
2022/1	11.6	42.8	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△ 15.7
3	24.9	60.7	11.3	13.1
4	43.0	61.6	12.2	38.9
5	90.1	153.6	16.8	77.5

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



5月の観光施設入場者数は、全体では90.1%増となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、南部の観光施設は153.6%増、中部は16.8%増、北部は77.5%増となりました。前年同月は4月12日よりまん延防止等重点措置、5月23日より緊急事態宣言が発出され行動制限が続いたことに対し、当月は行動制限がなかったことなどから前年同月を上回りました。

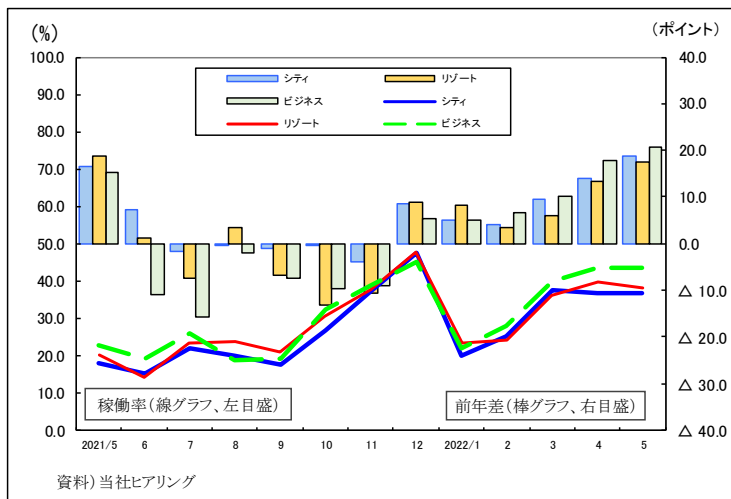
(参考)2019年同月比では、全体で69.7%の減少となります。内訳では南部の観光施設は74.6%減少、中部は76.8%減少、北部は63.9%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2021/5	17.9	20.3	22.7	16.6	18.9	15.1
6	15.3	14.1	19.3	7.2	1.3	△11.1
7	22.1	23.2	25.9	△1.8	△7.3	△15.8
8	19.8	23.8	18.7	△0.2	3.5	△2.0
9	17.6	20.8	19.2	△1.2	△6.7	△7.6
10	26.8	30.4	32.2	△0.2	△13.3	△9.7
11	37.1	37.5	38.7	△4.1	△10.8	△9.1
12	47.3	47.5	45.1	8.4	9.0	5.2
2022/1	20.1	23.2	22.0	4.9	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.4	6.7
3	37.3	36.2	40.0	9.5	6.0	10.2
4	36.8	39.8	43.4	13.8	13.4	17.9
5	36.6	37.9	43.3	18.7	17.6	20.6

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



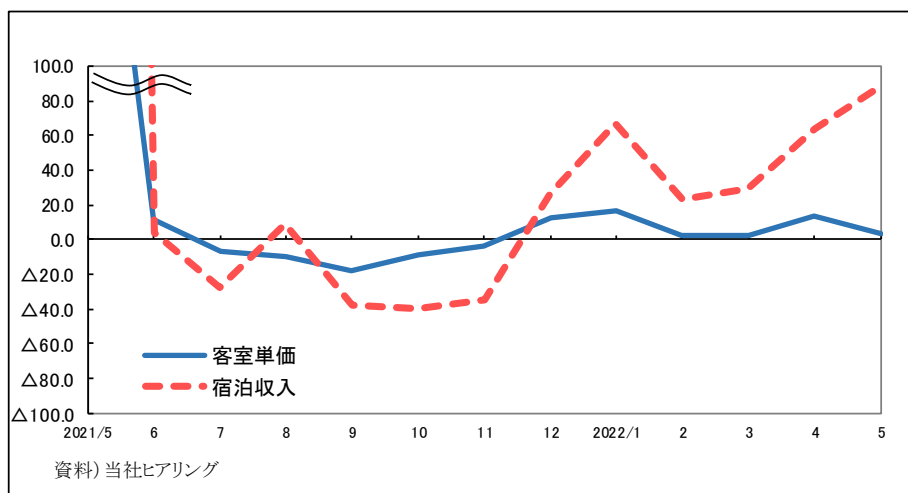
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比18.7ポイント増加、リゾートホテルは17.6ポイント増加、ビジネスホテルは20.6ポイント増加しました。行動制限のあった前年同月の反動増や、旅行マインドが改善傾向にあることなどから前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、シティホテルは37.8ポイントの減少、リゾートホテルは38.3ポイントの減少、ビジネスホテルは25.5ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2021/5	314.5	2,273.6
6	11.2	4.4
7	△6.6	△28.0
8	△9.9	8.9
9	△17.6	△38.1
10	△9.0	△40.1
11	△3.8	△34.5
12	12.5	26.6
2022/1	16.9	67.2
2	2.9	22.9
3	2.3	29.5
4	14.1	64.3
5	3.4	88.0



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く(R3.10にてホテル1施設の集計終了し、R3.11より新たなホテル1施設を集計開始)
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は3.4%増と6ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においても88.0%増と6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は2.0%の増加、客室収入は48.8%の減少となっています。

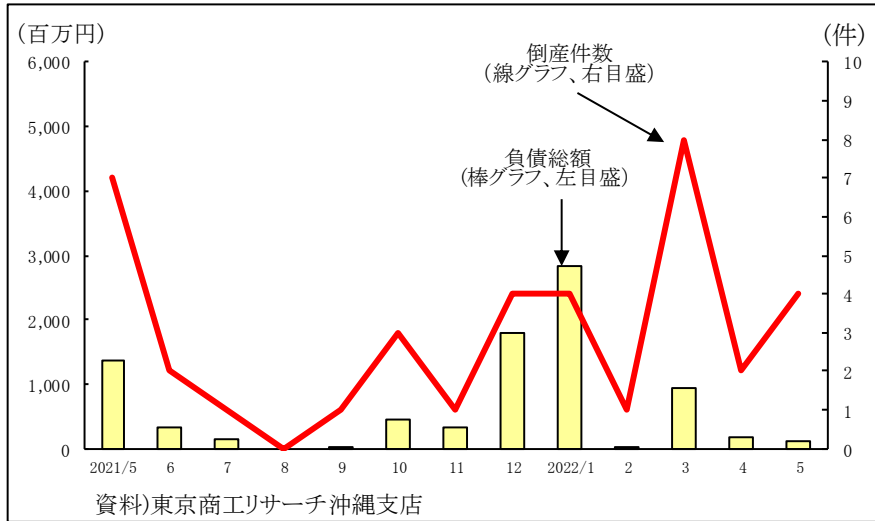


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/5	1,359	7
6	337	2
7	154	1
8	0	0
9	26	1
10	434	3
11	320	1
12	1,803	4
2022/1	2,819	4
2	10	1
3	935	8
4	170	2
5	120	4



資料)東京商工リサーチ沖縄支店

注)負債総額1,000万円以上を集計対象

5月の企業倒産件数は、4件となり、前年同月より42.9%下回りました。

負債総額は1億2,000万円となり、前年同月より91.2%下回りました。

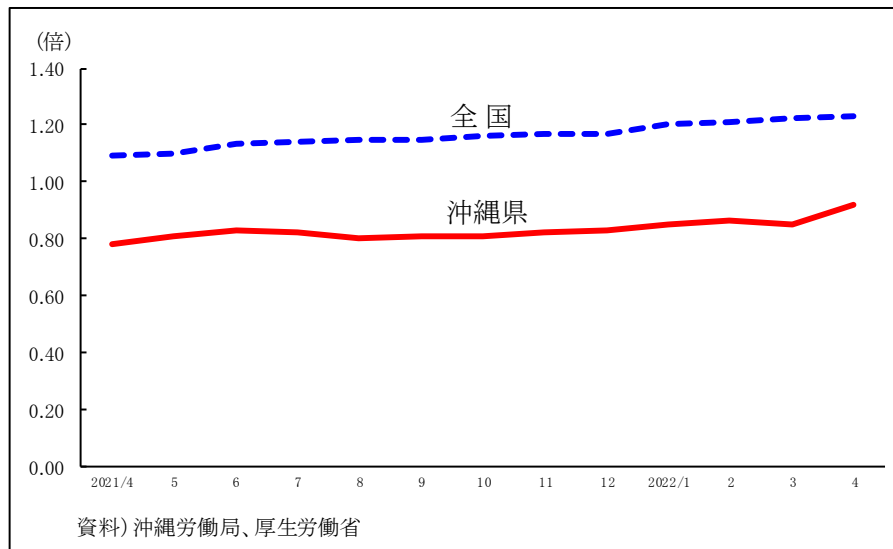


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(4月)・・・沖縄、全国ともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/4	0.78	1.09
5	0.81	1.10
6	0.83	1.13
7	0.82	1.14
8	0.80	1.15
9	0.81	1.15
10	0.81	1.16
11	0.82	1.17
12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21
3	0.85	1.22
4	0.92	1.23



資料)沖縄労働局、厚生労働省

注)季節調整済

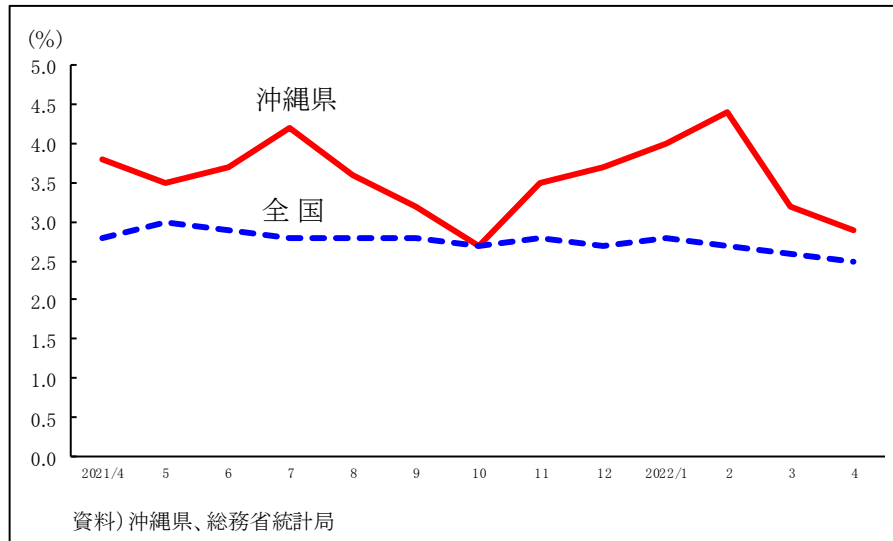
注)沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

4月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比7.3%増の29,878人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.3%減の32,644人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.92倍と、前月より0.07ポイント上昇となりました。

②【参考】完全失業率（4月）・・・沖縄、全国ともに前月より低下。

	単位:%	
	沖縄県	全 国
2021/4	3.8	2.8
5	3.5	3.0
6	3.7	2.9
7	4.2	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8
10	2.7	2.7
11	3.5	2.8
12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7
3	3.2	2.6
4	2.9	2.5

注) 季節調整済



4月の完全失業率(季節調整値) は、2.9%となり前月より0.3ポイント低下しました。